



第16回 日本医療マネジメント学会学術総会
ランチオンセミナー19

会場

H会場

ホテルグランヴィア岡山
4F フェニックス1/3

日時

2014年 6月 14日(土)
11:50~12:50

座長



渡辺 明良先生

学校法人聖路加国際大学
法人事務局長

演者



長谷川 洋先生

名古屋第二赤十字病院 顧問

終わらない手術室改革!
手術室改革からの
病院経営改善



第16回 日本医療マネジメント学会学術総会 ランチョンセミナー19

終わらない手術室改革! 手術室改革からの病院経営改善

名古屋第二赤十字病院 顧問 **長谷川 洋** 先生

セミナー要旨

<過酷な手術室勤務に悲鳴を上げる看護師たち>

当院の手術室は2001年、救命救急センターの開設と同時に13室が新設された。当初、手術件数は最大でも6,500件と予測していたが、2005年には早くも手術件数は6,700件超に増加。このままでは、手術室が運営できなくなるのではないかと。そんな危機感から業務調査を行って運営上の問題を明らかにし、2006年に「手術室改革プロジェクト」を立ち上げた。

<看護師のやりがいを取り戻すためのさまざまな対策>

まず看護師が担っていた手術器具の洗浄や滅菌作業から、清掃業務などの間接業務をすべて外部委託へと移行した。さらに、オペアシスタントという新しい職種を作り、手術に必要な機材などの準備は彼らに任せようとした。もっとも効果の見られた改革は、手術に用いる医療材料の手配の業務委託だ。1回の手術で使う100種類以上の材料を準備するには大変な時間と労力が必要だった。そこで、医師、看護師と相談の上、必要な医療材料を標準化し、共通の医療材料リストを作成。これに基づいて、1回の手術で使う医療材料を1つのパッケージに梱包する「キット」を中心とした業務効率化のシステムである(株)ホギメディカル「オペラマスター」を導入した。

<「なんとなく忙しい」を可視化して、運用効率を高める>

また、オペラマスターから提出されるデータも有効に活用した。「なんとなく忙しい」という状況も「可視化」されたデータとして示せば、一目瞭然。これまで手術現場では、医療技術への関心はあっても、「運営の効率化」という発想はなかったが、その意識改革を促した。そのような意識改革を基盤に多面的な改善策を実行。これによって、手術の準備時間は23.4分短縮。手術と手術のインターバルは、13分短縮。手術室の稼働率(昼間)は52%(2007年度)から61.8%(2010年度)に上昇し、急増する手術件数に対応できる体制が整った。

<高度急性期病院としてさらなる手術件数の増加に対応していく>

上述したプロジェクトの成果で確信をもった我々は次のステップとして経営の可視化を目指した改革に踏み切った。2013年、質の高い原価管理の実施を目的に「手術管理システム」を導入した。これにより正確で詳細な原価データを取得できるようになっただけでなく、各診療科での利益率や材料費率から診療科ごとの特性を把握することができるようになった。また術式ごとの収支分析から、問題となる術式の把握や対策の立案も可能となった。また導入・運用方法においても看護師やスタッフの負担を最小限に抑える配慮をすることでデータ取得の継続性も確保した。これらの分析データを継続的にモニタリングすることで安定した病院経営に活かしていく方針である。

国の医療政策が大きく転換するなかで、それに対応するための病院経営の新たな改革はまだ始まったばかりである。

高度急性期病院の役割を担うべき立場として、手術件数のさらなる増加にも対応でき、より安全で質の高い手術医療の実践をめざして、手術室改革は今後も続けられていく予定である。そのなかで、一つの方策として当院が取組んでいる改革とそのツールについて皆様にご紹介できれば幸いである。

会場のご案内

H会場 **ホテルグランヴィア岡山4F フェニックス1/3**
〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5 TEL086-234-7000

学会参加費

当日参加費 **10,000円**

ランチョンセミナー整理券のご案内

本学会のランチョンセミナーは整理券制です。整理券をお持ちの方からの入場とさせていただきます。(配布場所はセミナー会場と異なりますのでご注意ください)

配布場所: **岡山コンベンションセンター**
2Fロビー総合受付付近

配布時間: **6月14日(土) 7:30~11:30**

※セミナー開始10分を過ぎましたら整理券は無効となりますので、ご注意ください。

OPERA MASTER® 手術管理システム は、手術管理の仕組みを構築します。



最適な手術計画の作成

手術室の運営に関する“PLAN”づくりをお手伝いします。



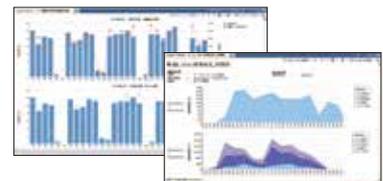
分析と改善提案

実績データを分析し、次の目標への“ACTION”をご提案します。



効率的な手術準備の実施

手術準備業務の標準化・効率化を目指し、各種ツールで“DO”をお手伝いします。



視覚的な現状把握

ヒト・モノの動きを可視化し、運営管理の“CHECK”にお役に立ていただけます。